

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日）の概況

当社グループの主要な需要業界におきましては、自動車や自動車タイヤの需要は、グローバルでは中国などで堅調な一方、国内は低調に推移しました。また、半導体市場は比較的堅調であった他、フラットパネル・ディスプレイ市場も、前年度後半以降の需要低迷から回復しました。一方で、足元では円安方向に転じているものの、今期途中まで円高が進行いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、石油化学系事業では、技術的に優位性を持つ製品のグローバルな拡販に注力いたしました。多角化事業では、半導体材料において最先端技術に対応した製品の拡販を、ディスプレイ材料において高成長が期待される中国市場での拡販を進めました。また、石油化学系事業・ファイン事業に続く第3の柱であるライフサイエンス事業も拡大いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,803億74百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益209億95百万円（同28.8%減）、経常利益は為替差損の減少や投資事業組合運用益の発生等により249億97百万円（同10.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は減損損失の減少や投資有価証券売却益の発生等により223億78百万円（同13.2%増）となりました。

（単位：百万円）

区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	比率
売上高						
エラストマー事業	135,247	45.9%	131,290	46.8%	△3,958	△2.9%
合成樹脂事業	40,610	13.8%	33,439	11.9%	△7,172	△17.7%
多角化事業	118,620	40.3%	115,646	41.3%	△2,975	△2.5%
合計	294,478	100.0%	280,374	100.0%	△14,105	△4.8%
国内売上高	130,535	44.3%	126,502	45.1%	△4,034	△3.1%
海外売上高	163,943	55.7%	153,872	54.9%	△10,071	△6.1%
区分	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	比率
営業利益	29,466	10.0%	20,995	7.5%	△8,472	△28.8%
経常利益	27,888	9.5%	24,997	8.9%	△2,892	△10.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19,774	6.7%	22,378	8.0%	2,604	13.2%

(部門別の概況)

(エラストマー事業部門)

合成ゴムの販売につきましては、販売数量はタイの合弁会社JSR BST Elastomer Co., Ltd. (JBE) での溶液重合SBR(SSBR) の本格稼働による拡販が寄与したことなどにより、前年同期を上回りました。売上高は、原料価格低下に伴う製品価格の低下の影響が大きく、前年同期を下回りました。

営業利益は、原料価格下落によるコストの低下はあったものの、販売価格も低下して採算が悪化し、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のエラストマー事業部門の売上高は前年同期比2.9%減の1,312億90百万円、営業利益は前年同期比30.7%減の47億39百万円となりました。

(合成樹脂事業部門)

合成樹脂の販売につきましては、国内向け、海外向け共に前年同期並みを維持し数量は微増となりました。売上高は、原料価格低下に伴う製品価格の低下と円高の影響により前年同期を下回りました。

営業利益は、原料価格下落によるコストの低下はあったものの、販売価格も低下して採算が悪化し、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の合成樹脂事業部門の売上高は前年同期比17.7%減の334億39百万円、営業利益は前年同期比32.4%減の27億22百万円となりました。

(多角化事業部門)

多角化事業の販売につきましては、ライフサイエンス事業は、株式会社医学生物学研究所の連結子会社化やKBI Biopharma, Inc. の売上増加により、売上高は大幅に伸長しました。一方、ファイン事業である半導体材料、ディスプレイ材料の販売につきましては、ともに円高の影響を受けました。加えて、ディスプレイ材料では競争激化の影響を受けたことにより、ファイン事業の売上高が減少し、多角化事業全体の売上高も前年を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の多角化事業部門の売上高は前年同期比2.5%減の1,156億46百万円、営業利益は前年同期比27.3%減の135億34百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月24日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び一部の連結子会社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、定率法（ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

当社は、中期経営計画に基づく事業のグローバル展開を積極的に進めておりますが、本年度以降、海外における生産・販売拠点の新設、生産能力の増強等、海外投資が本格化いたします。このような資源配分の変化を契機に、当社グループの減価償却方法について再検討した結果、定額法に統一することが適切であると判断するに至りました。当社グループの有形固定資産は、生産設備の技術的な確立及び製品の開発を経て、総じて長期安定的な使用が可能であり、経済的実態の点からより定額法が適合していること、また定額法への統一が当社グループ会社間のコスト比較、ひいては資源配分の意思決定に寄与すると同時に、グローバル展開している多国籍企業との業績比較も容易になる等、当社のグローバル化の推進に資すると考えられるためです。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ2,242百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,081	87,229
受取手形及び売掛金(純額)	77,878	92,685
有価証券	60,010	42,000
たな卸資産	77,458	77,553
その他	33,104	36,359
流動資産合計	300,532	335,827
固定資産		
有形固定資産	112,693	129,973
無形固定資産		
のれん	9,788	8,531
その他	6,875	8,343
無形固定資産合計	16,663	16,874
投資その他の資産		
投資有価証券	67,877	61,785
その他	18,592	17,912
投資その他の資産合計	86,470	79,697
固定資産合計	215,827	226,544
資産合計	516,359	562,371
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,836	73,162
短期借入金	20,840	20,955
その他	34,646	43,776
流動負債合計	109,322	137,894
固定負債		
長期借入金	22,249	38,460
退職給付に係る負債	15,180	15,232
その他	7,254	7,878
固定負債合計	44,683	61,570
負債合計	154,005	199,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,320	23,320
資本剰余金	25,179	17,469
利益剰余金	281,877	292,835
自己株式	△956	△5,434
株主資本合計	329,420	328,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,231	16,481
為替換算調整勘定	9,307	4,774
退職給付に係る調整累計額	△814	△241
その他の包括利益累計額合計	23,724	21,013
新株予約権	930	928
非支配株主持分	8,278	12,776
純資産合計	362,353	362,907
負債純資産合計	516,359	562,371

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	294,478	280,374
売上原価	211,786	197,603
売上総利益	82,692	82,771
販売費及び一般管理費	53,226	61,777
営業利益	29,466	20,995
営業外収益		
為替差益	-	1,583
投資事業組合運用益	-	1,181
その他	2,925	2,963
営業外収益合計	2,925	5,727
営業外費用		
支払利息	386	441
為替差損	2,664	-
その他	1,453	1,285
営業外費用合計	4,503	1,725
経常利益	27,888	24,997
特別利益		
段階取得に係る差益	1,757	-
投資有価証券売却益	-	1,811
事業譲渡益	-	758
その他	-	630
特別利益合計	1,757	3,199
特別損失		
減損損失	5,975	-
その他	593	-
特別損失合計	6,569	-
税金等調整前四半期純利益	23,076	28,196
法人税等	5,062	6,118
四半期純利益	18,014	22,078
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,759	△300
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,774	22,378

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	18,014	22,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,729	1,227
為替換算調整勘定	△2,011	△2,248
退職給付に係る調整額	△111	569
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,504	△2,129
その他の包括利益合計	△5,357	△2,581
四半期包括利益	12,657	19,497
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,705	20,191
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,048	△694

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	135,247	40,610	118,620	294,478	-	294,478
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,040	-	-	3,040	△3,040	-
計	138,288	40,610	118,620	297,519	△3,040	294,478
セグメント利益(営業利益)	6,834	4,026	18,605	29,466	-	29,466

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「多角化事業」において5,975百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	エラストマー 事業	合成樹脂事業	多角化事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	131,290	33,439	115,646	280,374	-	280,374
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,930	-	-	2,930	△2,930	-
計	134,220	33,439	115,646	283,304	△2,930	280,374
セグメント利益(営業利益)	4,739	2,722	13,534	20,995	-	20,995

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）に記載のとおり、従来、当社及び一部の連結子会社は、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、定率法（ただし、平成10年4月1日以降取得した建物（建物附属設備を除く）については、定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更いたしました。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「エラストマー事業」で1,125百万円、「合成樹脂事業」で159百万円、「多角化事業」で958百万円増加しております。